

「海・空・子どもプロジェクト」

2023年度 日本財団 海と日本プロジェクト

【報告書】

事業名：病弱児童・生徒の海洋教育協働探究カリキュラム開発
プロジェクト（海と日本 2023）

事業期間：2023. 5. 1-2024. 3. 31

団体名：海・空・子どもプロジェクト実行委員会



「海・空・子どもプロジェクト」 2023.5.1



1. プロジェクト名

健康課題・特別な支援を必要とする児童・生徒の海洋教育協働探究カリキュラム開発プロジェクト

2. 協力校

小学校：東京都葛飾区立保田しおさい学校（寄宿舎療養型学校）
沖縄県宮古島市立伊良部島小学校

3. 組織メンバー

代表：福島 昌子（福井大学大学院、連合教職大学院 特命教授）

副代表：西野 明子（東京都立病院救急救命センター主任看護師）

委員：18人（大学研究者、教育行政、学校園教員・管理職、博物館館長、看護師、作曲家（アートコーディネーター）、リゾートホテルコンシェルジュ、キャリアコンサルタント、スキューバダイビング社長・インストラクター）

4. 概要

各地域には海のさまざまな課題が存在する。日本は島国であるにもかかわらず、それを意識し行動に移す人は少ない現状にある。また人は海からの恩恵を受けて生活が豊かに育まれていることを忘れていても少なくない。それは学校教育で自然科学として「事実の海」について学ぶことが多く、教育学観点で「意味としての海」を含め多角的に学ぶ機会が少ないためである。そのため、海を自分事として捉えていないといえる。特に支援を必要とする病弱児童・生徒はより疎遠にある現状にあるといえる。したがって、本プロジェクトでは、健康課題のある児童・生徒を対象に海について学び、その学びから生きる姿勢として、個人の豊かな成長、社会性、コミュニティーと社会化を培うことをねらいとし、総合的な学習の時間に海洋教育協働探究学習を展開する。

5. 本プロジェクトの目的

中央教育審議会の答申（R3.1）「令和の日本型学校教育」では、新しい時代を見据えた学校教育の姿として、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない個別最適な学びの実現、その学びを支える質の高い教育活動を実施可能とする環境整備が求められている。療養などにより行動制限のある子どもたちの「個別最適な学び」「協働的な学び」を保障するために、あらゆる探究と結び付けることができる海洋教育を基に、学校の授業の題材・教材に位置付けて、持続可能な協働探究学習を展開することを目的とする。

6. 目標

海を題材とした学習は、日本の教育が求めている個別最適な学びを保障し協働探究を可能とする「問いの宝庫」といえる。そのため、健康課題のある子どもたちに海洋教育を通して自己の想像の扉を開き生きる力に繋げることを目的として、海洋教育協働探究学習のカリキュラムを考案する。したがって、特別支援学校の子どもたちから社会に向けて海の意味や価値の学習をとおして、通常学級の学校教育に波及し、多様な子どもたちの人間教育に繋がっていくことを期待したい。

7. 各専門分野のかかわり

各教育委員会は、学校との連携支援およびアドバイス。沖縄県宮古島市教育研究所は、宮古島での海プロジェクト・プログラム教材開発の支援および宮古島内の成果報告会交流対象校との連携に関する協力。その他、研究者、学校教員、医療従事者、芸術家、技術専門職関係者、ホテル企業、観光産業、その他の企業関係者は、プロジェクト内容における海に関する事前学習、海を学ぶ探究コースの企画、運営、宮古島での経験学習、学習成果物制作に各職種の専門性を活かした提案・指導を行う。

8. 総合的な学習の時間の授業（海・空・子どもプロジェクト）

異なった地域社会をベースに、海と人との共生をさまざまな分野（自然、生活、文化など）から探究的に学び、海と人のかかわりについて学ぶ。

- 目 標：**
- ① 聞くこと、関わること、感じることを中心としたコミュニケーションスキルを養う。
 - ② 自分の考えを対象化させ、新たな価値を育む。
 - ③ 自他ともに互いの価値が異なることを共有し認める(大切にする)。
 - ④ 他者を意識し、自分の言動に自覚的になる。
 - ⑤ 自己の表現、探求からメッセージを自らの手法や言葉で発信する。

9. プロジェクト期間

・葛飾区立保田しおさい学校（小学生 13 名） 2023 年 4 月～2023 年 9 月

10. 授業計画

○東京都葛飾区立保田しおさい小学校

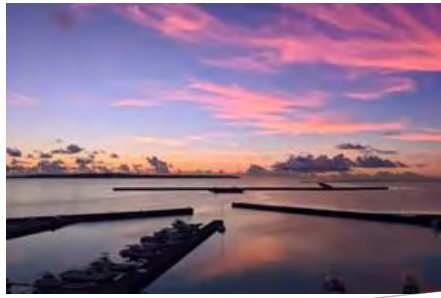
- ・ 5～7 月 事前学習（海の学習、宮古島を探検する、コースづくりなど）
 - 「a」事前学習①：事実としての海を学ぶ（海について、宮古島について、宮古島の海について調べる）
 - 「b」事前学習②：意味としての海を学ぶ（人と海との関係や繋がり、人にとっての海の価値や意味など）
 - 「c」事前学習③：海の紹介コースをつくる（コースの内容、コース名などを提案する）
- ・ 8 月 5・6 日 宮古島コース巡りの下見兼研究会（子どもが作った協働探究コースを大人が巡る）

子どもが作ったコースを大人が回る。子どもの分身であり親友の「ぬいぐるみ」が同行する。

→（台風のため、9/23.24 に延期して開催）
- ・ 9 月 12 日 宮古島の人たちとライブでつながり、時空間を共にする。
- ・ 9 月末 校内発表会の実施（保護者、教育委員会、姉妹校の先生方、地元の方を招待して発表会を開催する）
- ・ 10 月 宮古島市立伊良部島小学校と合同発表会を開催する。
- ・ 11 月 授業のまとめ会（アンケート実施、インタビュー）
- ・ 1 月 宮古島コース巡りの実施（ミニ研究会）
- ・ 3 月 プロジェクトのまとめの会（冊子配付）

11. 発表、報告等

- ・ 12 月 千葉県学校保健学会で発表
- ・ 2 月 本プロジェクト研究会開催
- ・ 2 月 全国教育研究大会（福井ラウンドテーブル）でポスター発表、実践発表



プロジェクトリーダーの HAKU



2023年10月9日



報道関係者各位

海・空・子どもプロジェクト実行委員会

【様々な海を知り、宮古島を探検しようの授業】を開催しました！

2023年5月24日 【場所】保田しおさい学校

訪問者自己紹介の後、保田しおさい学校の担任の井筒先生によるスライドで、世界のさまざまな場所の海をあてクイズ(世界、日本)を楽しみました。子どもたちの正答率はかなり高く、世界や日本の海について知識があることがわかります。

そしていよいよ宮古島の海へ。

宮古島がどこにあるか、地図で見て確認し、漁港や宮古島の魚を見たあとに、海・空・子どもプロジェクトの代表、福井大学東京サテライトの福島先生からさまざまな宮古島の海の様子や、生活、文化、食事、神事について紹介がありました。そして、「宮古島を巡るコースをつくる」ための活動について説明がされました。





宮古島の紹介を聞く子どもたち

次に、このプロジェクト・キャラのリーダーHAKU（羽来）が石垣島を旅した「コースめぐり紹介ビデオ」を見ると、子どもたちは大喜びでした。子どもたちのアイドルに！？

福島先生から「宮古島めぐりコース」をるクリにあたっての課題が示されました。

- ① 自分が行ってみたい場所を地図から1カ所選び、行ってみたい理由を付箋に書く。

地図に場所を示し、付箋を貼る。

- ② 担任の先生に行ってもらいたい場所を地図から1カ所選び、理由を書く。

地図にその場所を示し、付箋を貼る。

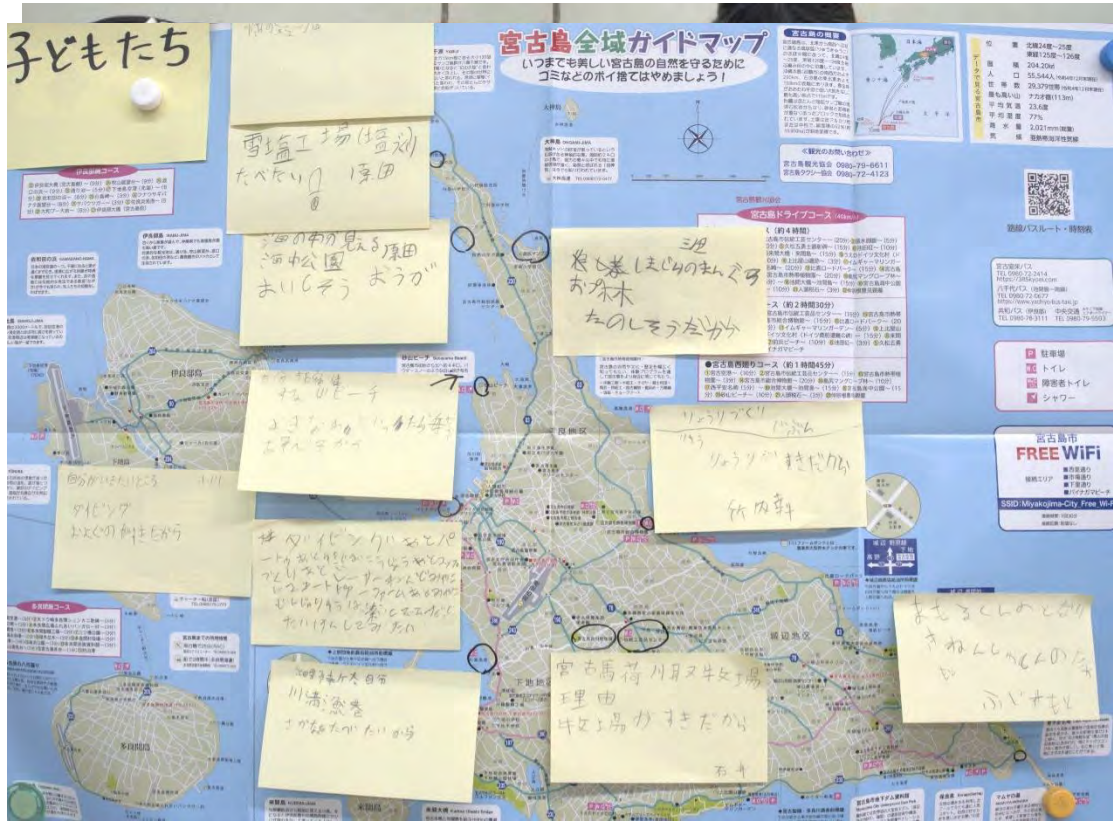
- ③ 校長先生に

- ④ 行ってもらいたい場所を地図から1カ所選び、理由を書く。

地図にその場所を示し、付箋を貼る。

学年	名まえ
地名	
理由	
なぜ、そこを選んだのか？	

子どもたちに各自一枚ずつ宮古島の地図と観光紹介のパンフレットが渡され、子どもたちは、パンフレットやタブレットで、宮古島のいろいろな場所を調べました。先生たちも子どもたちに寄り添って手伝いました。



大きな地図

図に各自自分の書いた付箋を貼り、地図に印をつけました。

子どもたちそれぞれが、自分の行きたい場所について、どこの場所でなぜそこに行きたいのかの発表がされました。なかには、「6年生全員で行く修学旅行」として回る場所を考えた子供もいました。そ



して、担任の先生や校長先生に行ってもらいたい、行かせてあげたい場所の発表では、「〇〇先生は、いつも疲れているから海が見えるベンチに座ってゆっくりしてもらいたいから」「校長先生に海の中を見せえてあげたいからダイビングができる場所を選んだ」などなど、それぞれ選んだ場所について、なぜそこを選んだかの理由が述べられました。先生の中には、生徒の優しい思いを知り、うっすら涙を浮かべている先生もいらっしゃいました。担任の先生たちから、場所を選んでくれたことに対する感想が話されました。そして、最後に校長先生が、児童みんなで選んでくれた場所をつないで一つのコースとして名前を付け「海満載コースと体験コースの宮古島」と名付けました。子どもたちみんなは大変満足そうに、そして誇らしげな眼をしていました。次はいよいよコースづくりの本番だ。うまくいくでしょうか。

最後にみんなで記念撮影

2023年6月18日



報道関係者各位

海・空・子どもプロジェクト実行委員会

【自然愛護に関する授業】を開催しました！

2023年6月10日 【場所】保田しおさい学校

海・空・子どもプロジェクト実行委員会は、保田しおさい学校の児童並びにその保護者を対象として、2023年6月10日(土)に自然愛護を目的とした道徳授業の一環として、自然愛護に関する授業を開催いたしました。

このイベントは、次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。



イベント概要

- ・開催概要
- ・日程 2023年6月10日(土)
- ・開催場所 保田しおさい学校(〒299-1909 千葉県安房郡鋸南町大六180-2)

自然愛護に関する授業

本プロジェクトでは、健康上に課題があり、自由に旅行ができない保田しおさい学校の子どもたちが、宮古島について、自分、先生また保護者等、自分や誰かのために紹介するコースを作ります。

今回は、その一環として、宮古島の自然保護について学習をしました。初めに宮古島にある海宝館の幸地館長よ

り、「宮古島の綺麗な海で生息している神秘的なシャコ貝の物語」と題して、お話をいただきました。幸地館長は、貝をこよなく愛し、海の自然保護について講話を行っています。海宝館には、館長自らが収集した約1万点以上の貝類のコレクションを展示しています。今回は、海宝館と保田しおさい学校をオンラインでつなぎ、宮古島で見られる6種類のシャコ貝に関するお話や、近年海水温の上昇が原因で起きているサンゴの白化現象についてお話がありました。子どもたちは、幸地館長の話に熱心に聞き入り、貝について質問をする子どももいました。

次に、プロジェクトメンバーが、マイクロプラスチックによる海洋汚染について話をしました。海のゴミのほとんどが、街で投げ捨てられたゴミであり、海はつながっていることを学ぶことができました。話の後は、海藻由来でできているお菓子を2人1組となって協力しながらつくり、自分たちができる海洋保護について考えました。



子ども達の授業の後、保護者や学校評議員の方に向けて、海宝館の幸地館長から、宮古島に生息するシャコ貝のお話をもとに自然保護に関する講話と担当から本プロジェクトの概要について説明を行われました。

参加した子どもからの声

オンライン上ではありましたが、子どもたちは海宝館の幸地館長が見せてくださった様々なシャコ貝に前乗りになって見入っていました。マイクロプラスチックによる海洋汚染の話では、授業者から出されたクイズ等を積極的に参加していました。授業の最後は、仲間たちと協力し合いながら、楽しくお菓子作りを行っていました。授業中は、お菓子とマイクロプラスチックがどのようにつながっているのか疑問を持ちながらつくっていましたが、最後に授業者からお菓子が海藻からできていることの説明を聞き、驚いている様子でした。授業後に子どもたちからは、「ゴミを捨てない」「海をみんなと協力して綺麗にする」等肯定的な意見が多く寄せられました。

(文責:加藤)

<団体概要>

団体名称 : 海・空・子どもプロジェクト実行委員会

活動内容 : 療養などにより行動制限のある健康課題のある子どもの学びを個別最適の保証するための持続可能な協働探究学習を行う。



日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している

環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

<お問い合わせ先>

団体名:海・空・子どもプロジェクト実行委員会 担当者名:加藤 悟(広報担当)

電話:090-4965-3827

メールアドレス:katou.satoru.ce@spec.ed.jp

2023年6月24日



報道関係者各位

海・空・子どもプロジェクト実行委員会

【地域散策（釣り）】を開催しました！

2023年6月24日 【場所】 竜島海岸

海・空・子どもプロジェクト実行委員会は、保田しおさい学校の児童を対象に地域の海を知ることがを目的として、地域散策（釣り）を開催いたしました。

このイベントは、次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。



イベント概要

- ・開催概要 竜島海岸における海釣り
- ・日程 2023年6月24日（土）
- ・開催場所 竜島海岸（千葉県鋸南町竜島69）
- ・参加人数 13名

釣りを楽しみながら地域の自然に触れる

本プロジェクトでは、健康上に課題があり、自由に旅行ができない保田しおさい学校の子どもたちが、宮古島について、自分、先生また保護者等、自分や誰かのために紹介するコースを作ります。

前回、6月10日（土）の宮古島近海に生息するシャコ貝に関することやサンゴの白化現象についての学習やマイクロプラスチックの授業を行いました。今回は、保田しおさい学校の近くにある竜島海岸にて釣りをを行い、子どもたちが暮らしている近くの海についての学習を行いました。

この日のために寄宿舍の職員や保護者のみなさまが、釣り道具等の準備をしてくださいました。学校からみんなで歩いて釣り場まで向かい、寄宿舍職員から道具の使い方について説明を受けました。

約1時間の釣りでは、ネンブツダイ等の魚を釣ることができました。



参加した子どもの声

保田しおさい学校から歩いてすぐのところには海が広がっていますが、これまで、授業や休みの日に海と触れ合う取り組みを行ってこなかったそうです。海面を覗くと魚がいることがわかってなかなか釣り上げることができない子どももいれば、釣り糸を垂らすとすぐに魚を釣り上げる子どももいました。短い時間ではありましたが、子どもたちは、それぞれ釣りを楽しんでいました。

（文責：加藤）

<団体概要>

団体名称 : 海・空・子どもプロジェクト実行委員会

活動内容 : 療養などにより行動制限のある健康課題のある子どもの学びを個別最適の保証するための持続可能な協働探究学習を行う。



日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

<お問い合わせ先>

団体名：海・空・子どもプロジェクト実行委員会 担当者名：加藤 悟（広報担当）

電話：090-4965-3827

メールアドレス：katou.satoru.ce@spec.ed.jp

2023年7月19日



報道関係者各位

海・空・子どもプロジェクト実行委員会

【総合的な学習の時間で「海とともに生きる」協働探究学習】

を開催しました！

2023年6月29日 【千葉県葛飾区立保田しおさい学校】

海・空・子どもプロジェクト実行委員会は、2023年6月29日(木)に千葉県葛飾区立保田しおさい学校の小学生3～6年生の児童を対象として、「海とともに生きる」をテーマとする総合的な学習の時間・協働探究学習の授業を開催致しました。

このイベントは、次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人がつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。



イベント概要

・開催概要

総合的な学習の時間の授業内で「海とともに生きる」をテーマに、協働探究学習を開催

・日程

2023年6月29日(木)

・開催場所

千葉県葛飾区立保田しおさい学校

(〒299-1909 千葉県安房郡鋸南町大六180-2)

・参加人数

児童:11名

教員:8名

実行委員:講師1名

サポート教員:4名

宮古島の海洋教材を題材に、総合的な学習の時間で児童が島を巡るコースを考える協働探究学習

本プロジェクトでは、療養などにより行動制限または健康課題のある保田しおさい学校(特別支援学校)の小学3~6年生の児童が、海洋教育を基盤とした個別最適な学びを実現するため、総合的な学習の時間や道徳の時間を通じて、沖縄県宮古島を題材に学習を展開しています。これまでの学習では、宮古島の海で生息している生物やサンゴの白化現象や、海洋汚染問題などの自然保護についても学んできました。

今回の授業ではこれまでの学習を基に、保田しおさい学校の子どもたちが、思考を巡らせ自分・家族・友達・先生等、自分や誰かのために「宮古島を巡る探究コース」を考えました。「誰のためのコースか?」「なぜその場所に行きたいのか?」「なぜそのテーマなのか?」など、その「なぜ(目的、理由)」を大切に、自分はどうしたいのか、他者にどうしてあげたいのかを主体的に考え、仲間や先生、講師の先生方と協働しながらコースを考え、海や自分自身についてより深く探究することができました。そして行きたい場所を3~4つ候補を挙げ、友達や家族と一緒に巡るならどのような場所にどの順番で巡りたいのか、地図と睨めっこしながら一生懸命に悩みながら取り組んでいました。夏休みには、児童が作成したコースを、児童一人一人のお気に入りのぬいぐるみたちが替わりとなって、実際に宮古島を巡る予定です!



宮古島の海を五感で感じよう！

保田しおさい学校の立地は、千葉県内房の海まで歩いて行ける距離にあります。保田の海の波の音と、青森の海の音と、宮古島の海の音を聴き比べ、海を感じました。同じ海でも、場所によって波の音が全く違うことに気づき、「これは保田ではない！」「保田の海の音とは違うと思った！」と驚きの表情を見せてくれました。また、宮古島の真っ白な星の砂に実際に触れたり、現地のマンゴーを味見するなど、普段はあまり外出できない児童たちが五感から海や宮古島を体感することができました。



参加した子どもたちの変容

悩んでなかなかコース作りが進まない児童、事前にイメージを膨らませていた様子の児童と、様々でしたが一生懸命にコース作りに取り組むことができました。

<児童のコース紹介>

- ・「家族との思い出作りコース」……大好きな人と一緒に行ったら楽しそうだから
- ・「パートウ」を見たい！……保田小のみんなから悪いものを追い払いたいから
 ➡どうして追い払いたいのかと聞いたら、作成時に話してくれました。

- ・海中公園に行きたい！……家族だけに行ってもらってゆっくりしてほしい／お母さんが海に入らなくても海の中が見えるから

普段は家族と離れて暮らす分、自分や家族・友達など自分以外の誰かと巡るコース作りは夢が広がり、目を輝かせて取り組んでいました。また、先生方からは、普段よりも格段に児童が集中して取り組み、考えていることや気持ちを言葉や文章で一生懸命表現しようとする姿が増えて嬉しい、とお話してくださいました。

(文責:堀井)

<団体概要>

団体名称:海・空・子どもプロジェクト実行委員会

活動内容:療養などにより行動制限のある健康課題のある子どもの学びを個別最適の保証するための持続可能な協働探究学習を行う。



日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

<お問い合わせ先>

団体名:海・空・子どもプロジェクト実行委員会 担当者名:加藤 悟

電話:090-4965-3827

メールアドレス:katou.satoru.ce@spec.ed.jp

2023年7月10日



報道関係者各位

海・空・子どもプロジェクト実行委員会

【宮古島を巡る探究コースの発表と磯学習】を開催しました！

2023年7月8日 【場所】葛飾区立保田しおさい学校及び鱧ヶ浦海水浴場

海・空・子どもプロジェクト実行委員会は、保田しおさい学校の児童を対象に地域の海を知ることがを目的として、磯学習を開催いたしました。

このイベントは、次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。



イベント概要

- ・開催概要 宮古島を巡る探究コースの発表及び鱧ヶ浦海水浴場における磯学習
- ・日程 2023年7月8日（土）
- ・開催場所 千葉県葛飾区立保田しおさい学校（千葉県安房郡鋸南町大六 180-2）
鱧ヶ浦海水浴場（千葉県安房郡鋸南町大六）
- ・参加人数 13名

宮古島を巡るコースの発表

保田しおさい学校の子どもたちが、思考を巡らせ6月29日（木）から行った「宮古島を巡る探究コース」の発表を行いました。このコースを作成するに当たり子どもたちは、「誰のためのコースか?」「なぜその場所に行きたいのか?」「なぜそのテーマなのか?」など、その「なぜ（目的、理由）」を大切に、自分はどうしたいのか、他者にどうしてあげたいのかを主体的に考え、仲間や先生、講師の先生方と協働しながらコースを考えました。発表では、コースとして取り上げた4つ候補場所について理由とともに発表を行いました。



鱧ヶ浦海水浴場での磯学習

宮古島を巡るコースの発表の後、地域の海に生息する海の生物について学習することを目的として、保田しおさい学校の近くにある鱧ヶ浦海水浴場にて磯学習を行いました。子どもたちは、房総の海に生息する様々な生物の観察をとおして、これまで学習した宮古島の海との違いについて学ぶことができました。

（文責 加藤）



参加した子どもの声

今回の授業に参加した子どもたちからは、またこのような授業を受けてみたいという肯定的な意見が多く寄せられました。子どもたちがまとめた感想の一部を紹介します。

- ・ 近くの海には、魚ないっぱいて面白かった。
- ・ 磯にタコがいて、素手で触ることができてとても印象に残った。
- ・ 磯には、カニなどの小さい生き物をつかまえることができてとても楽しかった。

<団体概要>

団体名称：海・空・子どもプロジェクト実行委員会

活動内容：療養などにより行動制限のある健康課題のある子どもの学びを個別最適の保証するための
の
持続可能な協働探究学習を行う。



日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

<お問い合わせ先>

団体名：海・空・子どもプロジェクト実行委員会

担当者名：加藤 悟

電話：090-4965-3827

メールアドレス：katou.satoru.ce@spec.ed.jp

2023年10月9日



報道関係者各位

海・空・子どもプロジェクト実行委員会

【宮古島とのLive授業】を開催しました！

2023年9月12日 【場所】保田しおさい学校

海・空・子どもプロジェクト実行委員会は、保田しおさい学校の児童を対象として、2023年9月12日（火）に、子どもたちが探究コースをつくった宮古島とオンラインで結び、Live授業を開催いたしました。

このイベントは、次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。



イベント概要

- ・開催概要 宮古島で働く人や宮古島の海について学習を行う
- ・日程 2023年9月12日（火）
- ・開催場所 葛飾区立保田しおさい学校（〒299-1909 千葉県安房郡鋸南町大六 180-2）
ホテルローカス
宮古島海上保安部 巡視船

- ・参加人数 12人
- ・協力団体 宮古島海上保安部、ホテルローカス

宮古島のオンライン見学

本プロジェクトでは、健康上に課題があり、自由に旅行ができない保田しおさい学校の子どもたちが、宮古島について、自分、先生また保護者等、自分や誰かのために紹介するコースを作りました。今回は、その一環として、保田しおさい学校と宮古島のいくつかの場所をオンラインでつなぎました。まずは、宮古島海上保安部の巡視船とぐちの見学をオンラインで行いました。巡視船と学校をオンラインでつなぐ授業は、全国でもはじめての試みです。また、保田しおさい学校の児童が、少しでも自分が体験したことを感じるために児童から預かったぬいぐるみも巡視船とぐちに乗船しました。海上保安庁の職員が、海上保安官の仕事の内容や巡視船内の設備を子どもたちにわかりやすく説明をしていただきました。子ども達から巡視船の職員に対して、海上保安官としてのやりがいや、この仕事に就くきっかけ等、多くの質問がされました。

巡視船見学の後は、ホテルローカスとつなぎ、ホテルの見学を行いました。プライベートプールのついた一室をオンラインで見学させていただきました。ホテルの従業員の方は、ホテルで働くことの楽しさやホテルでの取り組みなどを話していただきました。

ホテルのオンライン見学の後、宮古島の海の中撮影したビデオを視聴し、最後は、この授業に参加した保田しおさい学校の児童、宮古島海上保安部の職員、ホテルローカスの従業員がオンラインでつながり、宮古島でとれた島バナナとバナナケーキを食べました。



参加した子どもからの声

- ・海の中でみれてとても楽しかった。自分も宮古島に行って海に潜りたいと思いました。
- ・海上保安庁の船の中にさらに小さい船があることに驚いた。大きな船で救助などを行っていると思っていたけど、小さな船の役割を海上保安官の人の話を聞いて、確かにそうだと思った。
- ・ホテルの人が行っていた、サッカーでの経験が大人になっても役に立つということをお話されていた。自

分もサッカーをやっているので、大人になって役立たせたいと思う。

<団体概要>

団体名称 : 海・空・子どもプロジェクト実行委員会

活動内容 : 療養などにより行動制限のある健康課題のある子どもの学びを個別最適の保証するための持続可能な協働探究学習を行う。



日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

<お問い合わせ先>

団体名 : 海・空・子どもプロジェクト実行委員会 担当者名 : 加藤 悟 (広報担当)

電話 : 090-4965-3827

メールアドレス : katou.satoru.ce@spec.ed.jp

2023年10月10日



報道関係者各位

海・空・子どもプロジェクト実行委員会

【伊良部島小学校との交流授業】を開催しました！

2023年10月3日 【場所】保田しおさい学校、伊良部島小学校

海・空・子どもプロジェクト実行委員会は、保田しおさい学校の児童を対象として、2023年9月12日（火）に、子どもたちが探究コースをつくった宮古島市立伊良部島小学校との交流授業を開催いたしました。

このイベントは、次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。



イベント概要

- ・開催概要
- ・日程 2023年10月3日（火）
- ・開催場所 葛飾区立保田しおさい学校（〒299-1909 千葉県安房郡鋸南町大六 180-2）
宮古島市立伊良部島小学校（〒906-0502 沖縄県宮古島市伊良部池間添 1720）

・参加人数 40人

保田しおさい学校と伊良部島小学校の交流会

保田しおさい学校からクイズ形式での学校紹介を行った後、各学年でまとめた海に関する学習内容の発表、宮古島の探究コースの発表を行いました。海に関する学習内容では、4年生が海洋プラスチックについて、5年生が海の生き物について、6年生が海上保安庁について、これまでの授業で学習してきたことをスライドの形式で分かりやすく発表していました。

伊良部島小学校の児童から学校紹介の後、島野菜のパルダマ等についての学習のまとめをわかりやすくするために制作物を使って発表をしていました。

最後に、事前に送付しあったお互いの名産品を食べあって交流会は終わりました。



参加した子どもからの声

オンライン上ではありましたが、遠く離れた宮古島と保田の児童がつながり、とても充実した時間を過ごすことができました。両方の学校の児童は、それぞれの発表に対して、興味を持って聞いていました。児童からは、海洋プラスチックのことを知ることができてよかった。おやつが美味しかったとの感想がありました。また、オンライン交流会に参加した先生達からは、すぐ近くにいる感じがしました。他の人から言われることで改めて魅力を感じることができた等の感想をいただくことができました。

(文責 加藤)

<団体概要>

団体名称 : 海・空・子どもプロジェクト実行委員会

活動内容 : 療養などにより行動制限のある健康課題のある子どもの学びを個別最適の保証するための持続可能な協働探究学習を行う。



日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

<お問い合わせ先>

団体名：海・空・子どもプロジェクト実行委員会 担当者名：加藤 悟（広報担当）

電話：090-4965-3827

メールアドレス：katou.satoru.ce@spec.ed.jp

2023年11月4日



報道関係者各位

海・空・子どもプロジェクト実行委員会

【海洋協働探究学習のまとめ授業】を開催しました！

2023年11月1日 【場所】保田しおさい学校

海・空・子どもプロジェクト実行委員会は、5月から葛飾区立保田しおさい学校の子どもたちと行ってきた宮古島協働探究学習のまとめ授業を開催いたしました。

このイベントは、次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。



イベント概要

- ・開催概要 これまでの活動を振り返り、感想をまとめる
- ・日程 2023年11月1日（水）
- ・開催場所 保田しおさい学校（〒299-1909 千葉県安房郡鋸南町大六 180-2）
- ・参加人数 児童 13名

写真でこれまで取り組んできたことの振り返り

本プロジェクトでは、療養などにより行動制限または健康課題のある保田しおさい学校（特別支援学校）の小学3～6年生の児童が、海洋教育を基盤とした個別最適な学びを実現するため、総合的な学習の時間や

道徳の時間を通じて、沖縄県宮古島を題材に学習を展開しています。5月から始まった宮古島の協働探究学習は、今回で最後となりました。まずは、写真を見ながらこれまでの授業の振り返りを行いました。



これまでの活動を簡単に振り返ると、6月には、宮古島の海宝館をライブで結び、館長さんから宮古島近海のシャコ貝の紹介と海洋プラスチックによる海洋汚染について学びました。また、6月下旬には、思考を巡らせ自分・家族・友達・先生等、自分や誰かのために「宮古島を巡る探究コース」を考えました。7月には、保田しおさい学校近くの海岸にて磯学習を行い、自分たちの近くにある海について学びを深めました。9月には、宮古島をライブで結びました。海上保安庁の巡視船に乗船している海上保安官からは、巡視船の設備や海上保安官の仕事について話を伺うことができました。ホテルの職員からは、ホテルの仕事内容等を伺うことができました。10月には、伊良部島小学校の4年生との交流授業を行い、それぞれがまとめたことの発表等をおして交流を深めました。

それぞれの活動を写真で振り返った後、それぞれが、タブレットを使って感想をまとめました。

参加した子どもからの声

今回の授業に参加した子どもたちからは、またこのような授業を受けてみたいという肯定的な意見が多く寄せられました。子どもたちがまとめた感想の一部を紹介します。

- ・宮古島探究コースの作成をおして、いろいろなことを知ることができた。
- ・磯遊びの授業では、タコが出てきてびっくりした。
- ・小学校との交流では、恥ずかしかったけど勇気を出して、話すことができた。
- ・宮古島とのライブの授業では、海上保安庁とホテルのことを知ることができてよかった。

(文責 加藤)

<団体概要>

団体名称 : 海・空・子どもプロジェクト実行委員会
活動内容 : 療養などにより行動制限のある健康課題のある子どもの学びを個別最適の保証するための持続可能な協働探究学習を行う。



日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

<お問い合わせ先>

団体名：海・空・子どもプロジェクト実行委員会 担当者名：加藤 悟（広報担当）

電話：090-4965-3827

メールアドレス：katou.satoru.ce@spec.ed.jp